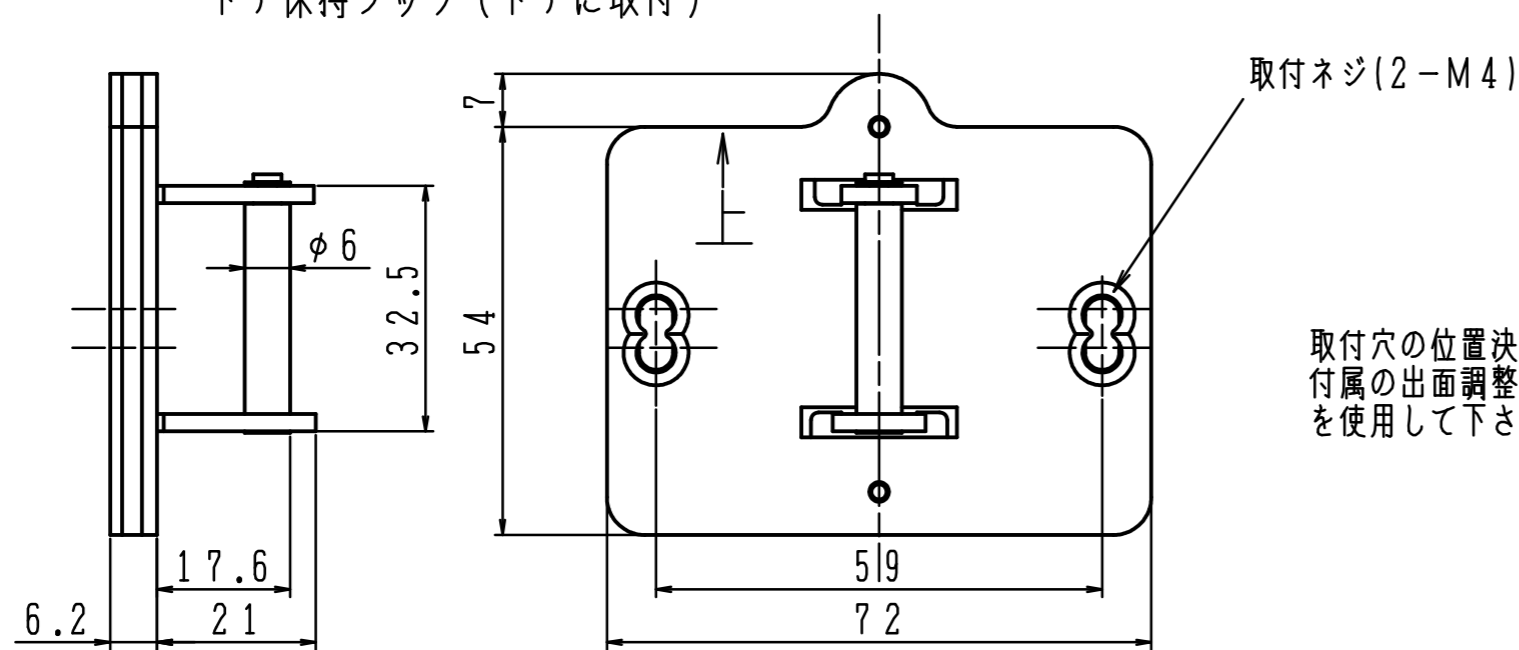


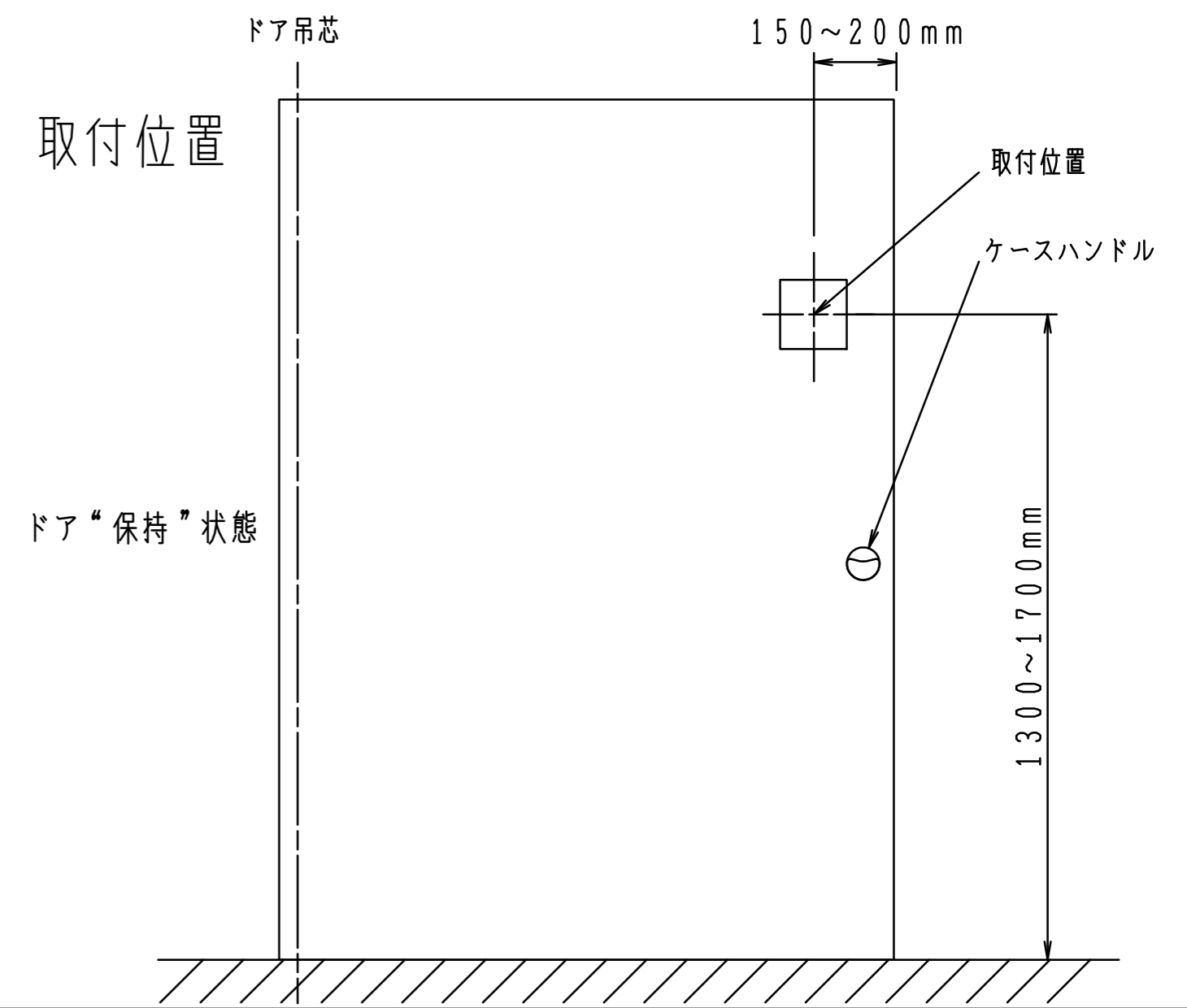
ドア保持フック (ドアに取付)



取付穴の位置決めは
付属の出面調整ピース
を使用して下さい。

形 式	RM-2
自主評定マーク使用許可番号	C-12-1
動作形態	非常時通電型
定格電圧	DC24V
定格電流	50mA±10%
使用電圧範囲	DC16V~DC32V
ドア保持力	245.2N(98N~686調節可能)
通電時間	100msec
使用温度範囲	-10°C~+40°C
リミットスイッチ 接点容量	AC125V, 3A DC30V, 2A(赤-黄間はDC30V, 0.5A)
リード線	耐熱ビニール電線 0.5mm ²
再ロック防止方法	機械的方法
出面調整範囲	15mm~40mm(納まり図のA寸法)
適合埋込ボックス	大型四角アウトレットボックス(浅or深)
適合塗代カバー	スイッチカバー2個用塗代付
材 質	本体:SPCC 化粧プレート:ABS樹脂
重 量	約0.75kg(ドア保持フック含む)
回 路	

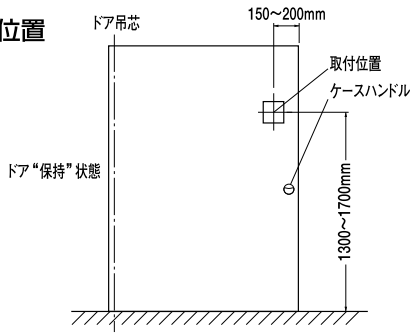
※極性なし



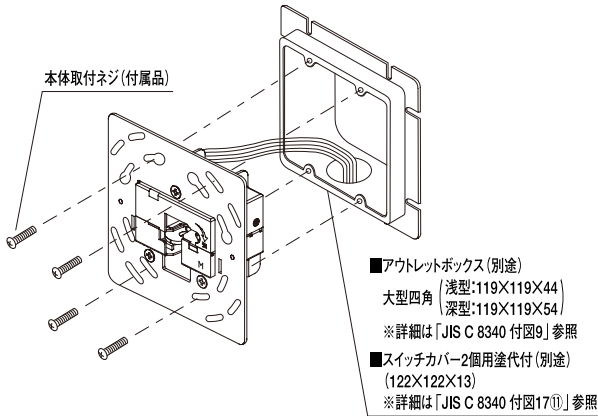
品 番	適用ドア寸法	
RM-2	ドアクローザ	P-83~P-86・P-7003~P-7007
	フロアヒンジ	F-835~F-865
	オートパワーヒンジ	HC-8T~HC-40

取付方法

1 取付位置

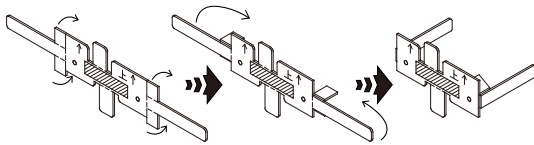


2 本体の取付

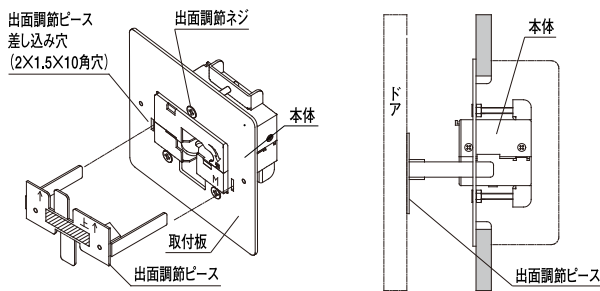


3 出面調節方法

1. 出面調節ピースを山折りに折って下さい。(6ヶ所)



2. 出面調節ピースを本体(2×1.5×10角穴)に5mm程度差込み、防火・防煙ドアを戸袋あるいは壁面と同一面になるように押し付けて下さい。

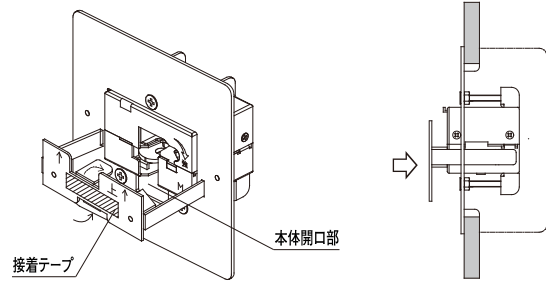


3. 出面調節ピースの裏面に、本体の正面が当たるまで、出面調節ネジを右へ回して下さい。

- 注) ●出荷時には最小にセットしてあります。
- 3箇所ある出面調節ネジを交互に回し、防火ドア保持状態でドアと本体が平行になるように調節して下さい。
 - 壁と平行に本体を取付けた場合、出面調節範囲は15~32mmですが、角度がある場合はこの範囲が小さくなります。
 - 出面位置が決まりましたら、出面調節ピース側面に目印を付けておいて下さい。作業中、出面調節ピースがずれた場合でも修正可能になります。
 - 出面調節ネジを出荷時の状態より左に回さないで下さい。本体が脱落し、ドアを保持出来ません。

4 ドア保持フックの取付穴加工

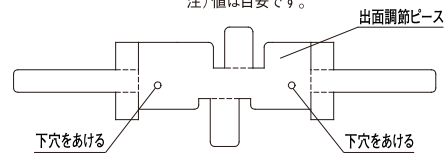
1. 出面調節ピースを途中まで引抜き、出面調節ピース中央2カ所を山折りに折り、本体開口部へ差込んで下さい。



2. 出面調節ピース表面の接着テープのはく離紙をはがし、ドアを自動閉鎖装置に押付けて、ドアに出面調節ピースを貼付けて下さい。
3. 出面調節ピースに合わせて、ドアにドア保持フック取付用の下穴をあけて下さい。

板厚	1.0	1.2	1.6	2.0	2.3
下穴径	φ3.1	φ3.2	φ3.3	φ3.4	φ3.5

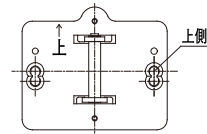
注) 値は目安です。 単位: mm



4. 出面調節ピースをドアからはがして下さい。

5 ドア保持フックの取付

ドア保持フックをM4×20タッピングネジ(付属品)にてドアに取付ます。ドア保持フック取付穴の上側を使用して下さい。



6 化粧プレートの取付

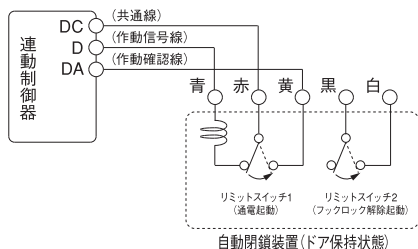
M3×6ネジ(付属品)にて化粧プレートを取付板に取付けて下さい。

防災機器 注意事項

■RM-2

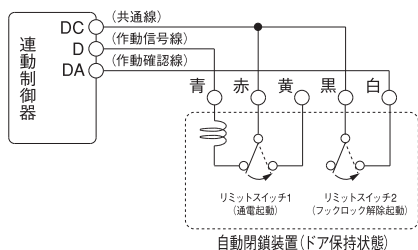
- 本製品は無極性ですが、連動制御器のプラスコモン、マイナスコモンを確認の上、電線を接続して下さい。

接続方法①：管理用防火・防煙ドアとして使用する場合



自動閉鎖装置(ドア保持状態)
通電作業時に応答信号を發しますが、
手動作動時には応答信号を發しません。

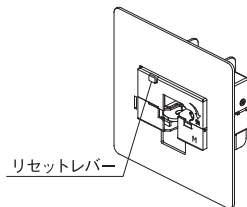
接続方法②



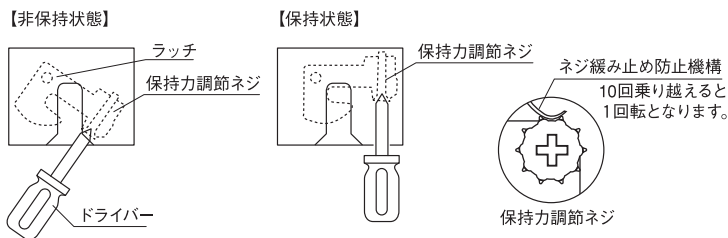
自動閉鎖装置(ドア保持状態)
通電作業時、手動作動時には応答信号を發します。

- 接続されている連動制御器の復旧操作を行って下さい。
注) 連動制御器の復旧方法は、設置されている制御器の取扱説明書をご参照下さい。

- 本体のリセットレバーを押した後、ドアを保持して下さい。



- 保持力出荷時、約100Nに調節してありますが、調節する必要がある場合は次の順序で行って下さい。保持力は98N～686Nで調節が可能です。
①プラスドライバーで保持力調節ネジを回転させ、調節して下さい。
保持力の調節は保持状態、非保持状態、どちらの状態でも可能です。
注) 保持状態で調節した場合は、通電により非保持状態へ戻して下さい。



- ②保持力調節ネジを左に回すと保持力は小さくなり、右に回すと保持力は大きくなります。手動でドアを開閉する場合、300N以下で設定して下さい。出荷時は約100Nで、右に1回転させると約150N上昇し、保持力は約250Nとなります。保持力調節ネジをゆっくり操作すると、ネジ緩み止め防止機構により、「カチッ」という操作感が得られます。右回しの「カチッ」という操作1回で約15N上昇し、右に1回転(10回の「カチッ」)で約150N上昇します。
注) 1.保持状態のドアを引張り、簡単に外れない程度に調節して下さい。
2.保持状態のドアが軽い衝撃などで外れないように調節して下さい。
3.保持力の調節には電動ドライバーは使用しないで下さい。